

第5学年国語科学習指導案

日時 平成18年11月2日(木)授業Ⅱ

場所 5年2組教室

児童 男子16名 女子13名 合計29名

指導者 山内 明

- 1 単元名 人物の考え方や生き方をとらえよう (光村図書 5年下)
教材名「わらぐつの中の神様」

2 単元について

(1) 教材について

本教材は、わらぐつや神様に対して「みったぐない。」「そんなの迷信でしょ。」といていたマサエが、おばあちゃんの「わらぐつの中に神様のいた話」を聞くことによって、真の価値を見極めることの大切さを知り、「雪がたの中にも神様がいるかもしれないね。」と変容する様子を描いた作品である。文章には「つうんと」「くるくると」などの擬態語や、比喩表現、方言が多く用いられ、「白いほおが夕焼けのように赤くなりました。」のような優れた心理描写や情景描写も随所に見られる。これらの表現をもとに、登場人物の心情や場面の情景を豊かに想像し読み味わうことができる教材である。したがって本教材は「登場人物の心情や場面についての描写など、優れた叙述を味わいながら読むこと。」(読むこと(1)ウ)や「共通語と方言との違いを理解し、また、必要に応じて共通語で話すこと。」(言語事項(1)カ(イ))の力を身につけるのに適したものとなっている。

また、現在一過去一現在という物語の構成の工夫や、冒頭でおじいちゃんに軽く触れながら、昔語りを聞いた後でおみつさんと若い大工さんがマサエの祖父母であることを種明かしする手法についても触れることによって、「文や文章にはいろいろな構成があることについて理解すること。」(言語事項(1)オ(ア))を身につける学習にも適している。

(2) 児童について

児童はまとまりがあり、他者と協調しあって活動する様子がみられる。気を利かせて進んで他者のために動くこともできる。しかし、自分の考えを積極的に主張したり、他者と考えに対して自分の考えを述べることに対しては抵抗を示す児童も多い。

5年(上)「新しい友達」において、登場人物の心情の変化を叙述に即して読み、自分なりの感想を持つ学習をした。ここでは時間ごとに場面を分け、「わたし」と「まりちゃん」二人の心情の動きを表にして捉えることにより、心情の変化を読み取った。また、クロッカスや、「坂本君」の物語の中での役割について話し合いを行った。しかし、学級全体での話し合い活動を中心としたため、一人ひとりがじっくりと考える一人学びの場が十分にとれなかった。

また、文章を構造的にとらえることについても「千年の釘にいどむ」を通して学習したが、本単元のような物語文・長文では初めてとなる。

(3) 指導にあたって

第5学年及び第6学年の「読むこと」の目標は「目的に応じ、内容や要旨を把握しながら読むことができるようにするとともに、読書を通して考えを広げたり深めたりしようとする態度を育てる。」ことである。内容として「登場人物の心情や場面についての描写など、優れた叙述を味わいながら読むこと。」「書かれている内容について事象と感想、意見の関係を押さえ、自分の考えを明確にしながらか読むこと。」が要求される。

そこで本教材「わらぐつの中の神様」ではマサエ、おみつさんの心情の動きを読み取る活動を行う。事前の全文視写、意味調べをしっかりと行い読み取りの際に役立てたい。マサエの変容を読み取ることを最終的な目標としながら、マサエとおばあちゃん、おみつさんと大工さんとの心の通い合いについても会話や情景描写から確実に読み取らせていきたい。そのために、授業においては部分視写からのサイドライン、書き込みからの学び合い活動を取り入れていきたい。

3 単元目標

(1) 関心・意欲・態度

- ・物語の内容や表現、構造に関心を持ち、文章の大体の内容を捉えようとしている。(読エ)

(2) 読むこと

- ・登場人物の人物像や心情の変化、場面の情景を叙述に即して読み取ることができる。(読ウ)

(3) 言語事項

- ・物語の文章構成や表現方法の工夫を理解することができる。(言(1)オ(ア))
- ・方言を用いた文章を声に出して読み、親しむことができる。(言(1)カ(イ))

4 指導計画 (11 時間)

☆参考図書

段階	時間	ねらい	学習活動	評価基準
つかむ	1	・全文を読み、印象に残ったことなどの感想を持つ。	・全文を読み、感想を持つ。互いの感想を発表する。	(関)学習への関心を持ち全文を読んで感想を書こうとしている。 (言)方言を用いた文章を声に出して読み、親しむことができる。
	2	・文章の大体の構造をとらえる。	・「わらぐつ」「神様」という言葉に着目しながら、6つの場面に分ける。	(関)物語の構造に関心を持って、場面分けをしようとしている。
	3	・学習課題を決める。	・マサエ、おみつさんの心情に着目しながら、学習課題を決める。	(関)課題について、意欲的に考えようとしている。
たしかめる	4	・マサエのわらぐつやおばあちゃんに対する気持ちを読み取る。	・会話文を手がかりにして、マサエの気持ちを読み取る。	(読) マサエが祖母とのわらぐつに対する見方の違いがあることを読み取ることができる。
	5	・雪げたに対するおみつさんの気持ちを読み取る。	・おみつさんの気持ちが伝わる文や、雪げたの描写部分からおみつさんの気持ちを読み取る。	(読)雪げたがほしくてたまらないおみつさんの気持ちを読み取ることができる。
	6 (本時)	・わらぐつを一生けんめい作るおみつさんの気持ちを読み取る。	・わらぐつを作っているおみつさんの様子がわかる言葉に着目して、おみつさんの気持ちを読み取る。	(読) わらぐつを一生懸命作るおみつさんの気持ちを読み取ることができる。
	7	・わらぐつがはじめて売れたときのおみつさんの気持ちを読み取る。	・売れる前と売れた後のおみつさんの様子を表す言葉に着目して、おみつさんの気持ちを読み取る。	(読)わらぐつがはじめて売れたときのおみつさんの気持ちを読み取ることができる。
	8	・大工さんの、仕事に対する考え方を聞いたときのおみつさんの気持ちを読み取る。	・会話文から、大工さんの仕事に対する考えや二人の心の通い合いを読み取る。	(読)大工さんの仕事に対する考え方と、二人の心の通い合いを読み取ることができる。
	9	・雪げたを見たときの発言や行動からマサエの気持ちの変容をとらえる。	・会話文に着目しながら、マサエの心の変容を読み取る。	(読)マサエの心の変容を読み取ることができる。

まとめる	10	・わらぐつや雪げたの価値と神様の意味をとらえ、物語の主題にせまる。	・わらぐつや雪げたについて話し合い、神様の意味を考える。	(読) わらぐつや雪げたの価値と神様の意味をとらえ、物語の主題に迫ることができる。
ひろげる	11	・作品の構成とその効果について考える。 ・作者の他の作品にふれる。	・現在—過去—現在の構成が作品にもたらす効果について考える。 ☆「かくまきの歌」童心社	(言) 物語の文章構成や表現方法の工夫を理解することができる。

5 本時の指導

(1) ねらい

わらぐつを一生懸命作るおみつさんの気持ちを読み取ることができる。

(2) 展開

段階	学習内容・教師の働きかけ	期待する児童の反応	留意点 評 評価
つかむ 3分	<p>1 前時想起</p> <p>○おみつさんがほしがったものは何でしたか。それは手に入れることはできましたか。</p> <p>2 学習課題の確認</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">おみつさんはどんな気持ちでわらぐつを編んでいったのだろう。</div>	<ul style="list-style-type: none"> ・雪げたです。 ・買えませんでした。 	
たしかめる 37分	<p>3 課題解決の取り組み</p> <p>(1)学習場面の音読</p> <p>○おみつさんがどんな気持ちでわらぐつを編んでいたか、できたわらぐつはどんなわらぐつだったか気をつけながら読みましょう。</p> <p>(2)学習場面の読み進め</p> <p>○雪げたを買ってもらえなかったおみつさんは雪げたをあきらめましたか。</p> <p>○手に入れるためにどうすることにしましたか。</p> <p>○どんな方法でお金を作ることにしましたか。</p> <p>○わらぐつ作りはうまくいきましたか。</p> <p>○うまくできなくて作るのをやめましたか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・意味段落を順読み。 ・あきらめませんでした。 ・自分で働いてお金を作ることにした。 ・わらぐつを作ることにした。 ・できなかった。 ・思うようにいかなかった。 ・やめませんでした。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「うちのくらしだってたいへん」「家の仕事をすませてから」などから家族へ迷惑をかけないように、気をつかうおみつさんの人柄もおさえさせたい。

<p>(3)視写</p> <p>○どうしてやめないで作り続けたのだろうね。作っている気持ちを考えるために視写して考えてみましょう。</p> <p>○早く終わった人は一人学びをしましょう。</p>		<p>・25段落を視写する。</p>
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>一人学び</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 書いた文章を読み返す。 2 分からない言葉を○でかこむ。 3 おみつさんがどんなことを考えながらわらぐつを編んでいたかわかる部分に——線を引く。 4 ——線のところにおみつさんがどんな人かを考えて書く。 </div>		<p>評 おみつさんが心をこめてわらぐつを編んでいる様子にサイドラインを引くことができる。</p>
<p>(4)学びあい</p> <p>○目で読みましょう。</p> <p>○声に出して読みましょう。</p> <p>○文章を2つのまとまりに分けましょう。どこから分ければいいですか。</p> <p>○分からなかった言葉を発表してください。</p> <p>○まず前半部分。わらぐつはすぐにできましたか。時間がかかっているのがわかる言葉はどれでしょう。</p> <p>○では後半。「でも」はどんなときに使う言葉ですか。別のことばにするとなにになりますか。</p> <p>○「でも」おみつさんはどんなことを考えながら編んでいったのですか。おみつさんの気持ちが分かる部分、どこに線を引けばいいかを教えてください。</p> <p>○「心をこめて」とありますが、どんな心をこめましたか。</p> <p>○格好のことは「心をこめて」に含まれていますか。</p>	<p>・「でも」の前です。</p> <p>・たやすく</p> <p>・格好</p> <p>・できませんでした。</p> <p>・「なかなか思うようにはいきません」</p> <p>・反対のことを言うとき</p> <p>・けれども</p> <p>・しかし…</p> <p>・「少しくらい～少しでも長持ちするように」</p> <p>・はく人がはきやすいように</p> <p>・あったかいように</p> <p>・少しでも長持ちするように</p> <p>・いません。</p>	<p>・出にくい場合は「作り始めの部分」と「その後の部分」とで分けるヒントを出す。</p> <p>・語句の意味については、事前の意味調べによる確認程度におさえる。</p> <p>・「ように」という言葉に着目させる。</p>

	<p>○おみつさんはどんな人だと思いますか。</p> <p>○「悪くても」の「ても」からおみつさんは格好よりもなにを大切に作ったと思いますか。</p> <p>○「しっかり」とはどんな意味ですか。</p> <p>○2回繰り返されているということはその分ていねい・じょうぶだということですね。</p>	<p>・おみつさんは思いやりがある人だ。</p> <p>・見た目よりも中身を大切にする人だ。</p> <p>・中身</p> <p>・ていねいに</p> <p>・じょうぶに</p>	<p>・「しっかり」と「しっかりしっかり」の違いからこめた心の強さを捉えさせたい。</p>
<p>ま と め る 5 分</p>	<p>4 学習のまとめ</p> <p>○おみつさんがわらぐつを編むときの気持ちを想像しながら（黒板の視写部分を）読みましょう。</p> <p>5 次時の学習内容の確認</p> <p>26 段落後半、期待を持ってわらぐつを売りにいくおみつさんの様子の読み取りをして、次時の展開への興味付けを行う。</p> <p>○できたわらぐつはどんなわらぐつでしたか</p> <p>○おみつさんはこのわらぐつが出来てうれしいと思いますか。それがわかる言葉はどれですか。</p> <p>○次の時間はわらぐつを売りに出たおみつさんの気持ちを読み取っていきましょう。</p>	<p>・いかにも変な格好</p> <p>・じょうぶなことはこのうえなし</p> <p>・うれしいと思う。</p> <p>・「元氣よく…」のところ</p>	<p>・外見よりも内面を大切にわらぐつ作りをするおみつさんの様子をしっかりとらえさせたい。後にそれがそのままおみつさんの姿(特別美しいわけではないが、気立てがやさしくて…)につながることに気づかせ、その後の大工さんとの展開につなげたい。</p>

(3) 具体的評価規準と支援の手立て

	A	B	支援の手立て
<p>わらぐつを一生懸命作るおみつさんの心情を読み取ることができる。</p>	<p>評 おみつさんが心をこめてわらぐつを編んでいる様子にサイドラインを引き、おみつさんの人柄について自分の考えを持つことができる。</p>	<p>評 おみつさんが心をこめてわらぐつを編んでいる様子にサイドラインを引くことができる。</p>	<p>学習場面を丁寧に視写し、難語句に○印をつけられるように支援する。</p>

(4) 板書計画

わらぐつの中の神様

杉みき子

おみつさんはどんな気持ちでわらぐつを編んでいったのだろう。

お父さんの作るのを見てみると、たやすくできるようですが、自分でやってみると、なかなか思うようにいきません。でも、おみつさんは、少しくらい格好が悪くても、はく人がはきやすいように、あつたかいように、少しでも長持ちするようにと、心をこめて、しっかりと、わらを編んでいきました。

わらぐつの へんな格好

絵

じょうぶ

一人学び

- 1 書いた文章を読み返す。
- 2 分からない言葉を○でかこむ。
- 3 おみつさんがどんなことを考えながらわらぐつを編んでいたかわかる部分に――線を引く。
- 4 ――線のところにおみつさんがどんな人かを考えて書く。